

【スフィア基準】

スフィア基準（スフィアスタンダード）とは？

災害や紛争などの人道危機において、被災者が人間としての尊厳を保ちながら生き延び、回復するために必要な最低限の支援の質と量を定めた国際的な基準です。

正式名称『人道憲章と人道対応に関する最低基準』

過去に発生した避難所問題

『トイレ・衛生環境の不備』

トイレの数や清掃体制が不十分、衛生面の悪化が避難車の健康に影響。阪神淡路大震災では避難者がトイレに行けない・使えない不安から、水分や食事を控えるようになる**トイレパニック**が発生しました。



『プライバシーや安全面の対策が不十分』

プライバシーに配慮した着替え場所や、洗濯物の干し場所がなかったり、貴重品の管理に困ったりと、安全面にかかわる問題点もいくつか挙げられます。また、避難所での性暴力・性被害も多く発生しています。

スフィア基準 具体的な基準の例

● トイレの確保・管理

- ・携帯トイレ・仮設トイレ・簡易トイレの備蓄。
- ・避難者20人に対して、トイレ1基以上。
- ・男女別設置（女性：男性＝3：1）

など



商品掲載ページ P85～

● 食事の質の確保

- ・すべての人が栄養価の高い食料を安定して入手できること。
- ・厚労省のエネルギー摂取目安（約2,100カロリー）

など



商品掲載ページ P54～

● 生活空間の確保

- ・パーティションや段ボールベッド・エアベッドなどの備蓄
- ・3.5㎡以上住居スペース
- ・必要な生活用品（毛布、調理器具、衣類など）の提供

など



商品掲載ページ P95～

● 生活用水の確保

- ・安全な飲料水の確保（1人あたり15～20L/日）
- ・シャワーや仮設風呂50人に1つ

など



商品掲載ページ P84